

# 第45回 景気動向アンケート報告

(2016年5月～8月期)

＜今期DI値は+12で前年同期比+7ポイント、来期は+15で前年同期比▲9予測＞

○全体業況判断DI（好転企業数－悪化企業数）÷回答企業数の％、直近3年の推移表

※（ ）の数字は、前年同期比の増減

年	1-4月	5-8月	9-12月	年3期平均値
2013	+8 (▲11)	+16 (+10)	+26 (+22)	+16.7 (+11.1)
2014	+24 (+16)	+9 (▲7)	+6 (▲20)	+13.0 (▲3.7)
2015	+12 (▲12)	前年同期+5 (▲4)	+24 (+18)	+13.7 (+0.7)
2016	前期+11 (▲1)	今期+12 (+7)	来期予測+15 (▲9)	-

- 鹿児島の中小企業家の業況判断は、今期(2016年5-8月期)DI+12で、前年同期のDI+5に比べ、+7ポイント。来期(2016年9-12月期)予測DIは+15で前年同期比▲9の予測。
- 個別指標実績の前年同期、今期比較は、売上DI+10→+10(前年比±0)、収益DI▲3→+4(+7)、資金繰りDI+1→+10(+9)と、売上DIは横ばいながら、収益、資金繰りDIがやや改善。
- 業種別業況DIの前年同期比の数値の高い順に、個人向けサービス業DI▲37→+25(前年比+62)、製造業DI▲28→±0(+28)、事業所向けサービス業DI+26→+28(+2)、建設業DI+8→±0(▲8)、小売業DI+42→±0(▲42)、卸売業DI+40→▲50(▲90)の結果。事業所向けサービス業、建設業を除く4業種は、前年同期との増減差が大きい。事業所向けサービス業は、安定。建設業は、従来のけん引力を見せていない。
- 全体景況感と個別企業家の印象の差についての意見紹介

別添「全体の業況」DI値推移グラフ(2004年1-4月期～)によると、2012年9-12期のDI値+4以来、2013年9-12月期のDI値+26を最高値としてプラス領域の推移が、今期で丸4年、本調査は4か月ごとに実施されるので、連続12回続いたことになる。

この点、経営歴の長い事業主の中には、好況感を感じられない方も少なからずおられる。本調査分析会議では、次のような趣旨の意見があった。「業歴の長い方は、高度成長期やバブル時代など究極の好況を体験しておられる。この時期との対比で、現在の景気状況に物足りなさを感じているということもありうる。他方、2012年ごろまでの長い不況期に創業、または事業継承した業歴の浅い企業家は、どん底も含む不況期と比べれば、好況であると判断しているのではないか」(仮説的意見であるが、紹介しておく)。

## 概 要

### 経営上の問題点

経営者が抱える現在の問題点は「従業員の不足」「人件費の増加」「価格競争の激化」がベスト3となっている。これらの問題点は1年以上前から変わっておらず、継続している問題点と言える。

### 経営上の力点

経営上の力点、即ち経営者として取り組むべき課題は「新規受注の確保」「付加価値の増大」「人材確保」が多い傾向にある。付加価値の高い商品を充実させ、顧客を増やす。これを実現する為の人材を増やしたいということだろう。これは永遠のテーマとも言える。

## 鹿児島の中企業経営者が持つ関心事について

「新県知事の動向」への関心をトップにあげる回答者が一番多く、次いで、「日銀の金融政策」が拮抗し、やや間をおいて「東京オリンピック」、「鹿児島国体」という順であった。分析会議では、知事の動向、日銀の政策ともに、新施策に期待感はあるものの、今のところやや分かりやすさを欠き、企業家の間にはモヤモヤ感が存在するとの意見もあった。

## 2018年のNHK大河ドラマ「西郷どん」と自社施策について

「施策を考えている」との回答が12.3%、「考えていない」との回答が87.7%。施策内容は、「新商品の開発販売」がトップで6社、以下「異業種とのコラボレーション」5社、「外国語への対応強化」4社、「同業他社との連携」4社と続いた。放送は再来年の話であるが、既に6社が新商品の開発販売という積極的な施策を持っていると回答しており、今後の広がりが期待される。

1. 対象企業 鹿児島県中企業家同友会会員企業（409社）
2. 対象期間 2016年5月～8月期実績、2016年9月～12月見直し
3. 調査期間 2016年9月29日～10月18日
4. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
5. 回答企業数 81社より回答を得た（回答率19.8%）

## 景気動向調査アンケート(第45回)

(今期は2016年5月～8月です)

☆ この調査は全会員の皆様にご送っております。結果は10月に全会員に公開いたします。

☆ 尚、個々の調査データ内容は一切公表せず、集計担当者と事務局で保管いたします。(政策委員会)

☆ このアンケートは、e.doyuでも実施しています。そちらでご回答いただいた場合はこのFAXでのご回答は必要ございません。

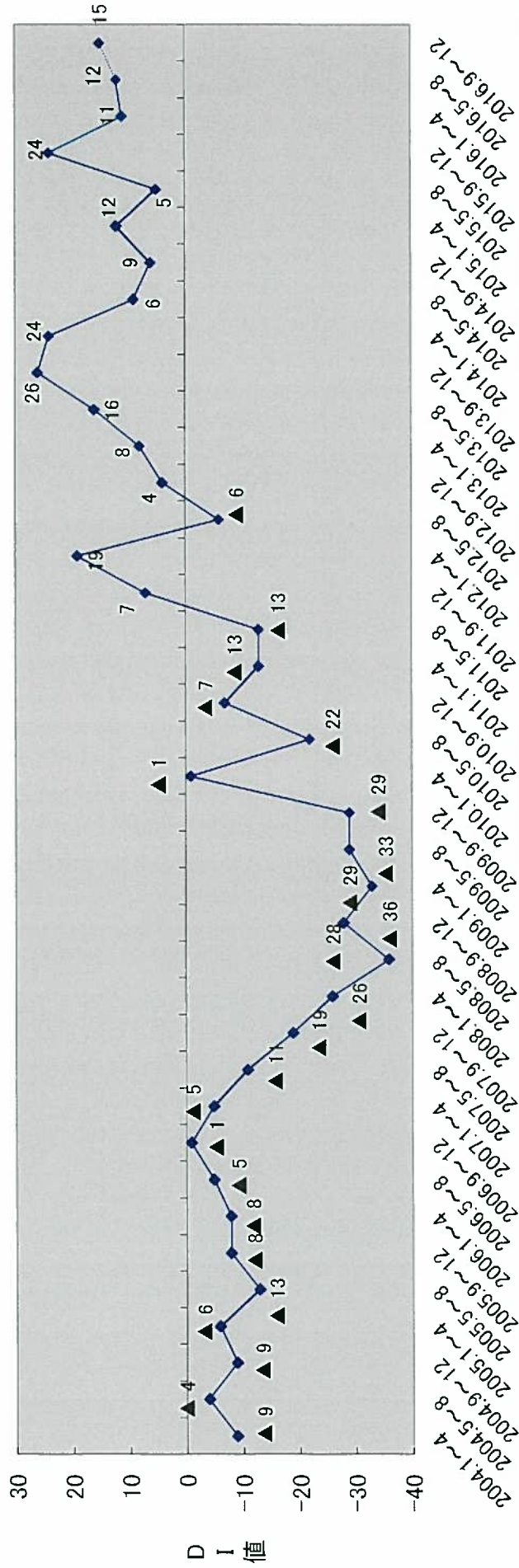
締め切り 10月12日(水)

氏名		企業名	
(1) あなたの会社の状況についてお答えください。 (該当するものに○印をつけてください)		業 種	1、製造業 2、建設業 3、卸売業 4、小売業 5、サービス業 (a:対事業所向け b:対個人向け) 6、農水産業 事業内容 ( )
(今期) 2016年5月～8月の実績		(来期) 2016年9～12月の見通し	
1、業況	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
	今期の業況について、前期(2016年1月～4月)と比較してお聞かせ下さい。 ①好転 ②横ばい ③悪化		
2、売上	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
3、収益	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
4、資金繰り	良い 変わらず 悪い	良い 変わらず 悪い	
(2) 経営上の問題点(上位2つまで選び、番号に○をつけてください)			
1、価格競争の激化 2、受注競争の激化 3、売上の減少 4、事業資金の借入難 5、仕入価格の上昇 6、人件費の増加 7、管理費等間接費の増加 8、金利負担の増加 9、従業員の不足 10、税負担の増加 11、その他 ( )			
(3) 経営上の力点はどこに置かれていますか(下記の上位2つまで選び番号に○をつけてください)			
1、付加価値の増大 2、新規受注(顧客)の確保 3、新規事業の展開 4、得意分野の絞込み 5、人件費削減 6、人件費以外の経費節減 7、財務体質の強化 8、機械化促進 9、情報力強化 10、人材確保 11、社員教育 12、研究開発 13、機構改革 14、その他 ( )			
(4) 鹿児島県の中小企業経営者が持つ関心事についてお尋ねします。			
下記の語群の中から関心の高い順に番号を付けて下さい。(関心の無い語群は番号付けする必要はありません) 日銀の金融政策に関する動向( ) 鹿児島県新知事の動向( ) 鹿児島ドーム建設案( ) 2020年鹿児島国体( ) 2020年東京オリンピック( ) その他( )			
(5) 2018年のNHK大河ドラマは「西郷(せご)どん」に決定したことが9月8日に報道されました。			
過去「篤姫」が2008年放映された際の鹿児島への経済効果は262億円、「翔ぶが如く」は1990年の放映で140億円の経済効果と発表されました(九州経済研究所調査)。その頃と比べると九州新幹線の全線開通や格安航空の増大などで観光客の流通環境が充実している上に外国人観光客も上昇傾向にあることから期待は高まる一方です。鹿児島への経済効果は500億円を超えるという噂も・・・これをチャンスと捉え鹿児島同友会の皆さんは色々なアイデアを思案中のことと思います。そこでご質問いたします。			
① 施策は考えていますか? 考えていてやる方向で進めている( ) 現段階では考えていない( )			
② 『考えていてやる方向で進めている』とお答え下さいました方にお尋ねします。どのような施策ですか? 下記の語群よりお選び下さい。(複数回答可能です。又『現段階では考えていない』にお答え下さいました方は結構です)			
新商品の開発販売( ) 出先(店舗など)の拡充( ) 販売ネットワーク/流通経路の強化( ) 観光客のネット上の口コミ活用の仕掛け( ) JR九州や航空会社と連携( ) 行政と連携( ) 鹿児島観光協会と連携( ) その他異業種とコラボレーション( ) 外国語への対応強化( ) 同業他社との連携( ) HPのリニューアルやメールでの情報発信内容の強化( ) ブログ/SNSなどの利用強化で情報発信( ) バンフレット/チラシ/看板/のぼり等の準備( )			
③ 同友会の仲間に「当社はこのような戦略を考えている」とご説明できることであれば是非お聞かせ下さい。 ( )			

ご協力ありがとうございました。

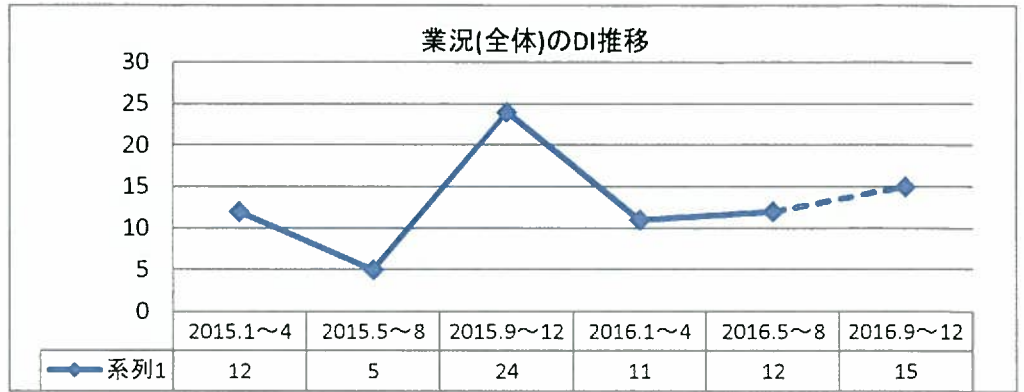
返信はFAXで同友会事務局(FAX⇒099-259-4838)までお願いします。

# 全体の業況

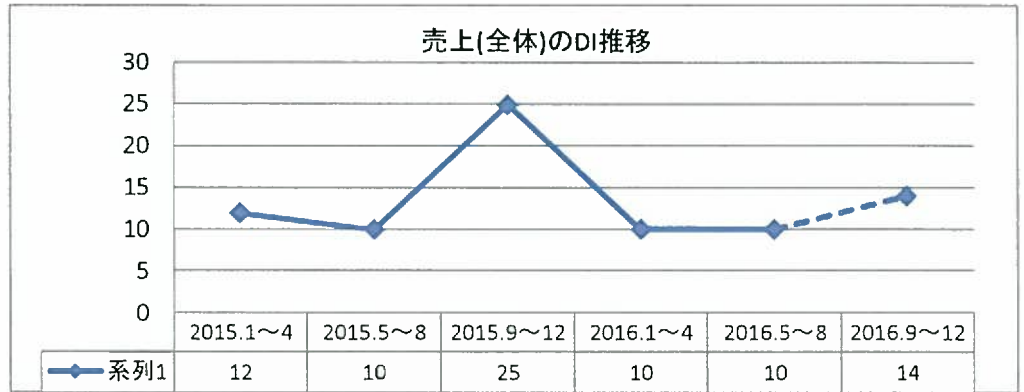


# 全体

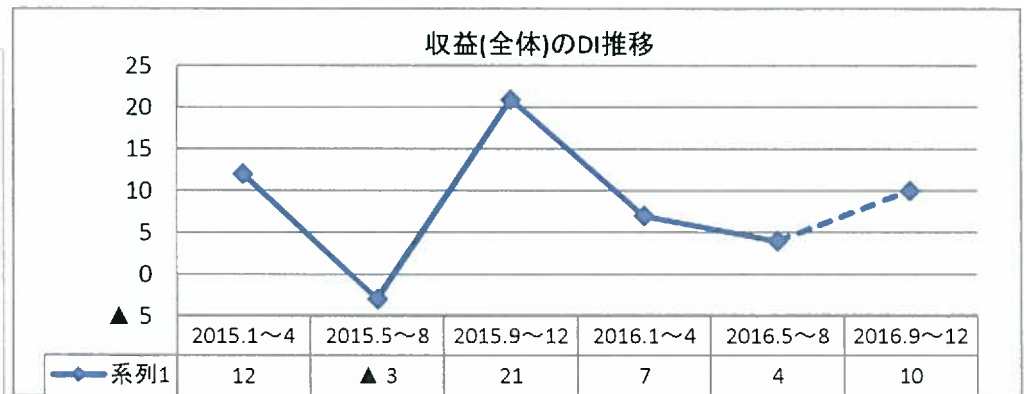
今期の業況は「良い」34.6%、「変わらず」43.2%、「悪い」22.2%でD.I.12となっており、前期とほぼ変わっていません。来期の業況はD.I.15とわずかに上昇する見通しです。



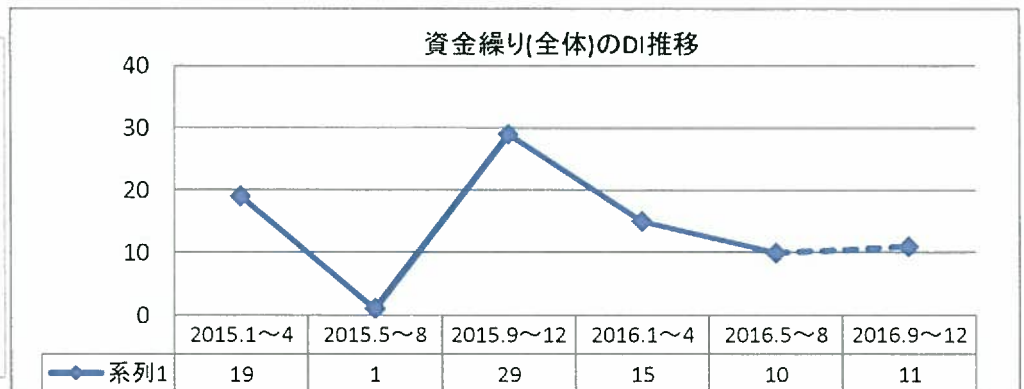
今期の売上は「良い」33.3%、「変わらず」43.2%、「悪い」23.5%でD.I.10となっており、前期と変わっていません。来期の売上はD.I.14と若干上昇する模様です。



今期の収益は「良い」29.6%、「変わらず」44.5%、「悪い」25.9%でD.I.4となっており、前期に比べ若干下降しています。来期の収益はD.I.10と上昇する模様です。

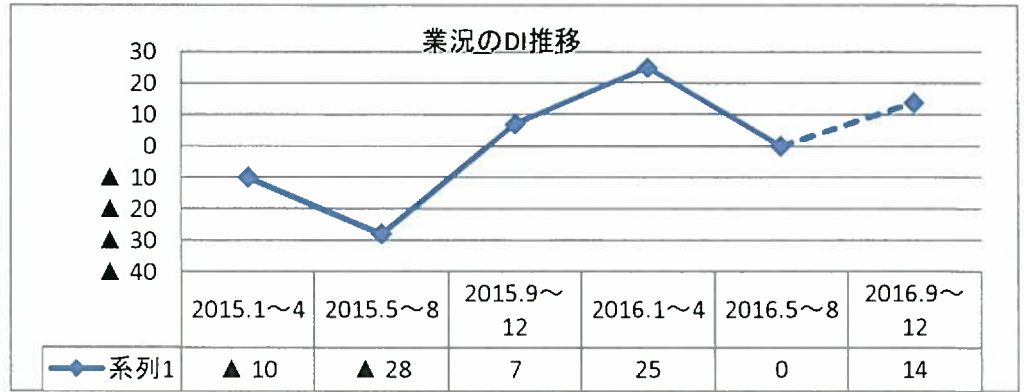


今期の資金繰りは「良い」25.9%、「変わらず」58.0%、「悪い」16.1%でD.I.10となっており、前期に比べ下降しております。来期の資金繰りはD.I.11と今期とほぼ変わらない模様です。

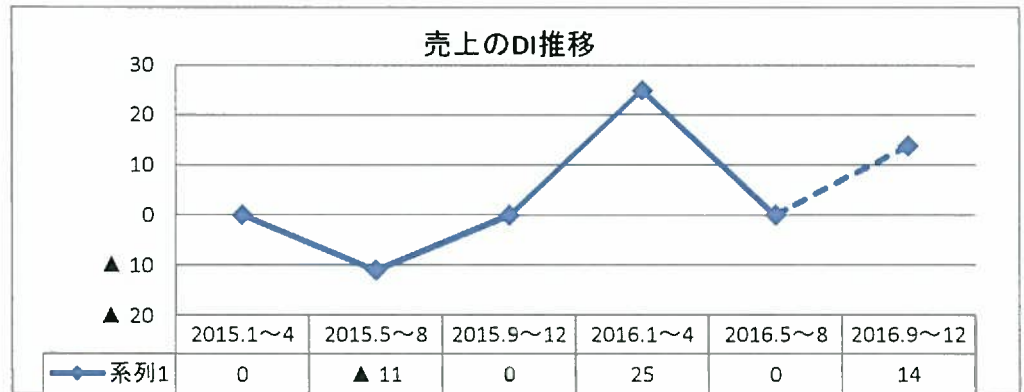


# 製造業

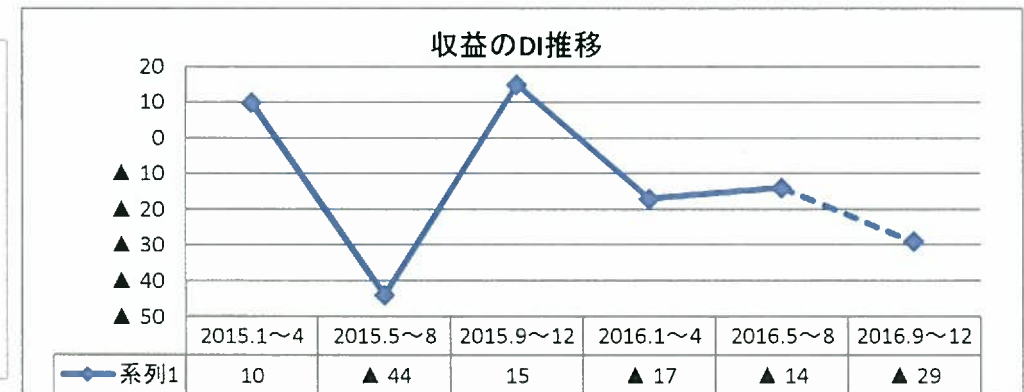
今期の業況は「良い」28.7%、「変わらず」42.6%、「悪い」28.7%でD.I.0となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の業況はD.I.14と大きく上昇する模様です。



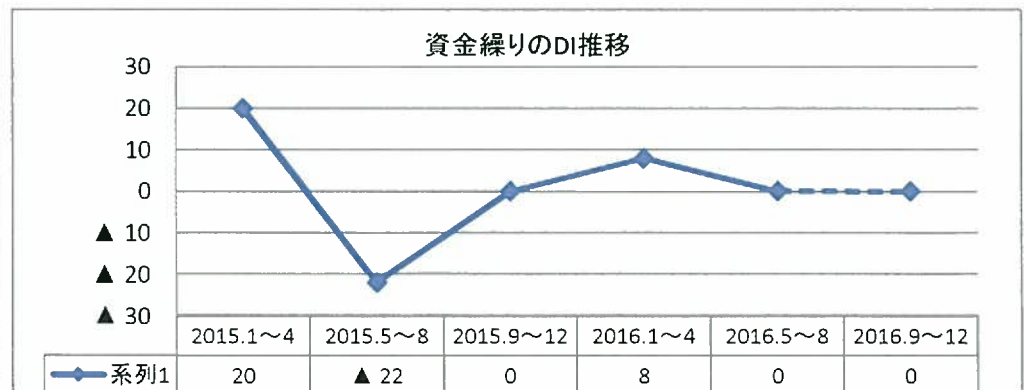
今期の売上は「良い」14.3%、「変わらず」71.4%、「悪い」14.3%でD.I.0となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の売上はD.I.14と大きく上昇の見通しです。



今期の収益は「良い」28.7%、「変わらず」28.7%、「悪い」42.6%でD.I.▲14となっており、前期(▲17)に比べわずかに上昇しています。  
しかし来期の収益はD.I.▲29と再び下降の見通しとなっています。

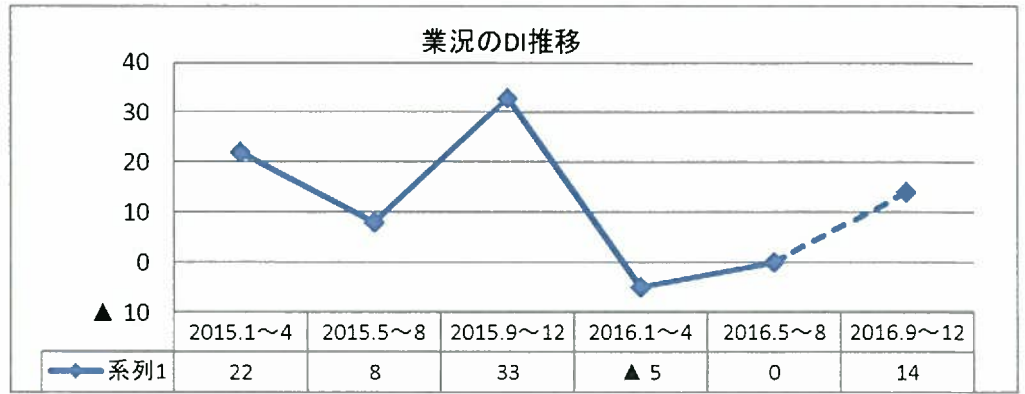


今期の資金繰りは「良い」0%、「変わらず」100%、「悪い」0%でD.I.0となっており、前期(8)に比べ若干下降しています。  
来期の資金繰りはD.I.0と横並びになる見通しとなっています。

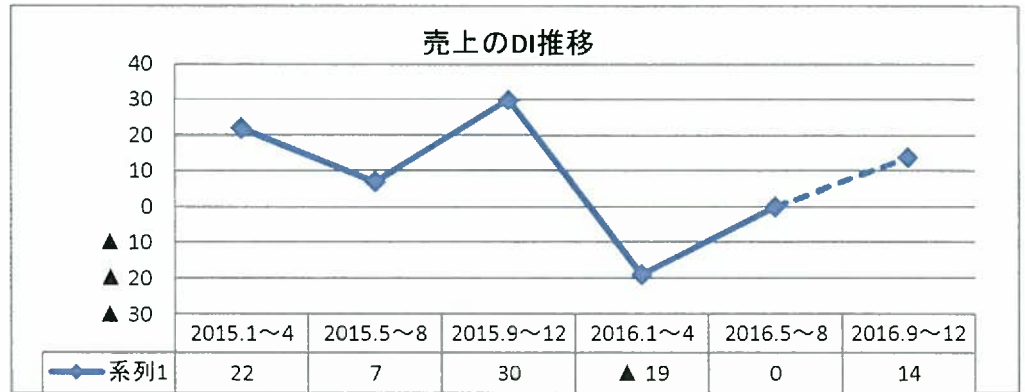


# 建設業

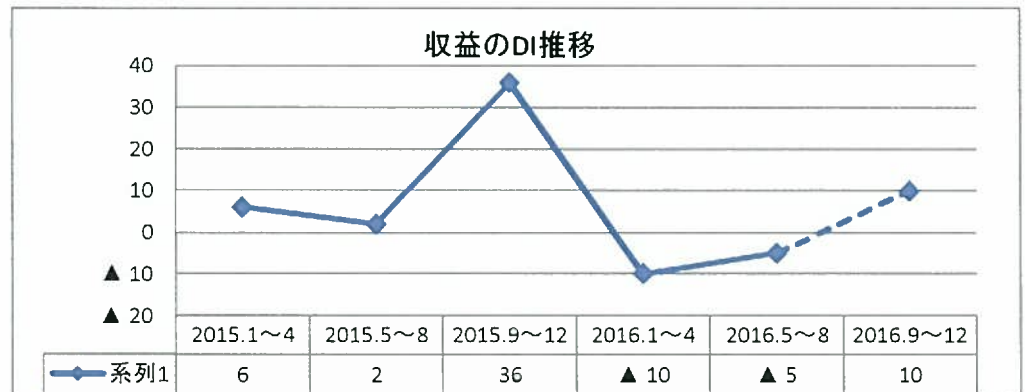
今期の業況は「良い」31.6%、「変わらず」36.8%、「悪い」31.6%でD.I.0となっており、前期(▲5)に比べ上昇しました。来期の業況はD.I.14とさらに上昇する模様です。



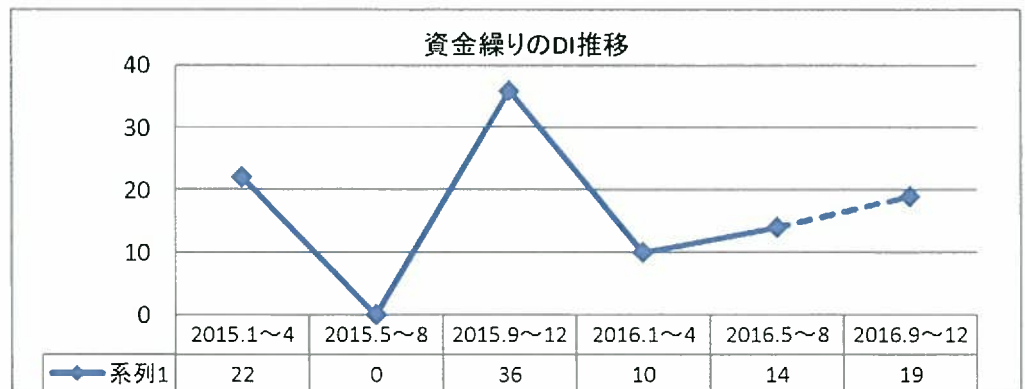
今期の売上は「良い」23.8%、「変わらず」52.4%、「悪い」23.8%でD.I.0となっており、前期(▲19)に比べ大きく上昇しています。来期の売上はD.I.14とさらに上昇する模様です。



今期の収益は「良い」23.8%、「変わらず」47.6%、「悪い」28.6%でD.I.▲5となっており、前期(▲10)に比べ若干上昇しています。来期の収益はD.I.10と上昇する模様です。

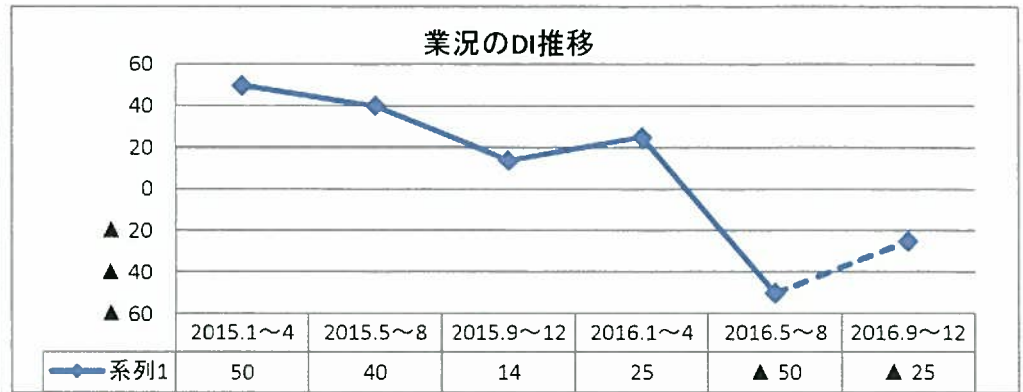


今期の資金繰りは「良い」33.3%、「変わらず」47.2%、「悪い」19.5%でD.I.14となっており、前期(10)に比べ若干上昇しています。来期の資金繰りはD.I.19と上昇する模様です。

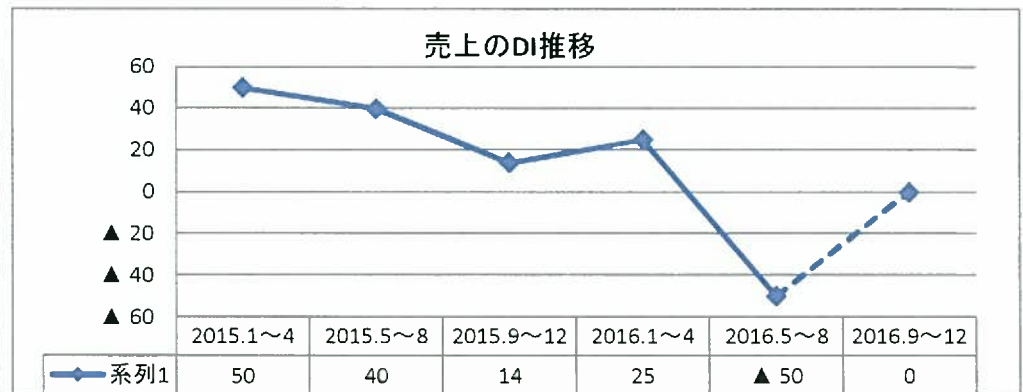


# 卸売業

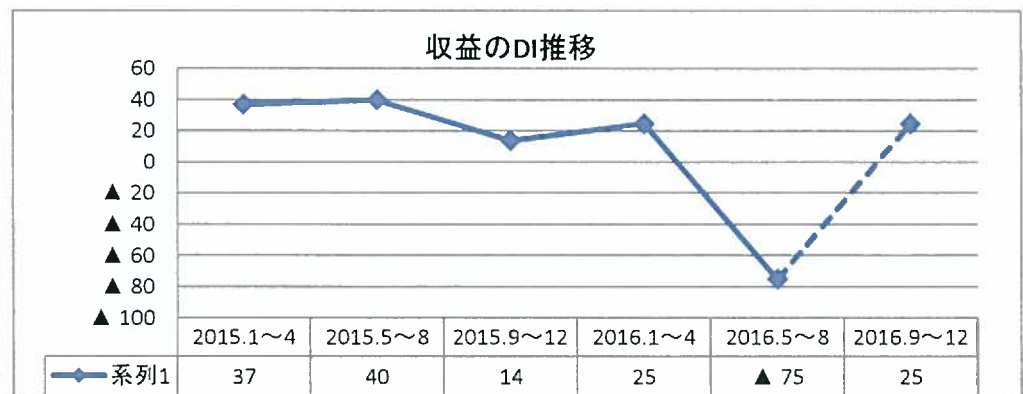
今期の業況は「良い」0%、「変わらず」50.0%、「悪い」50.0%でD.I.▲50となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の業況はD.I.▲25と大きく上昇する見通しとなっています。



今期の売上は「良い」0%、「変わらず」50.0%、「悪い」50.0%でD.I.▲50となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の売上はD.I.0と大きく上昇する模様です。



今期の収益は「良い」0%、「変わらず」25.0%、「悪い」75.0%でD.I.▲75となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の収益はD.I.25と前期と同程度まで上昇する模様です。



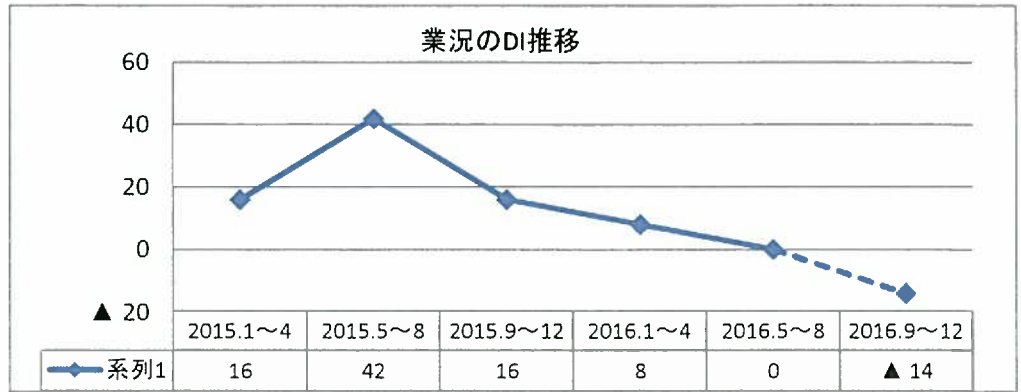
今期の資金繰りは「良い」0%、「変わらず」100%、「悪い」0%でD.I.0となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。  
来期の資金繰りはD.I.0と今期と横並びになる模様です。



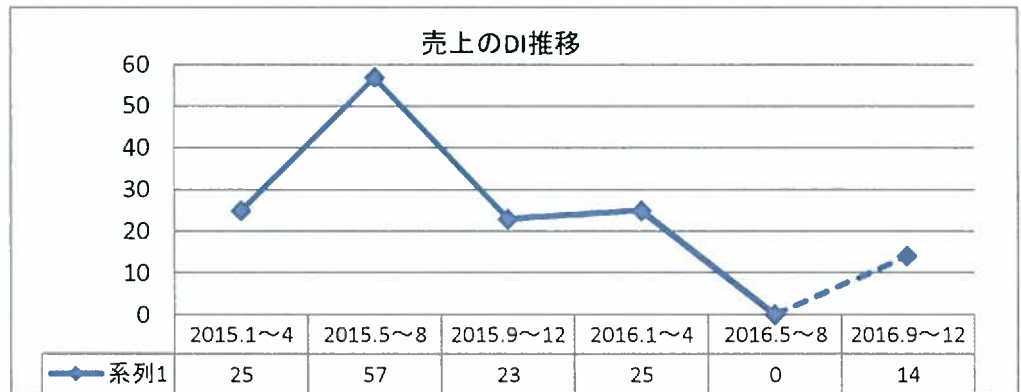


# 小売業

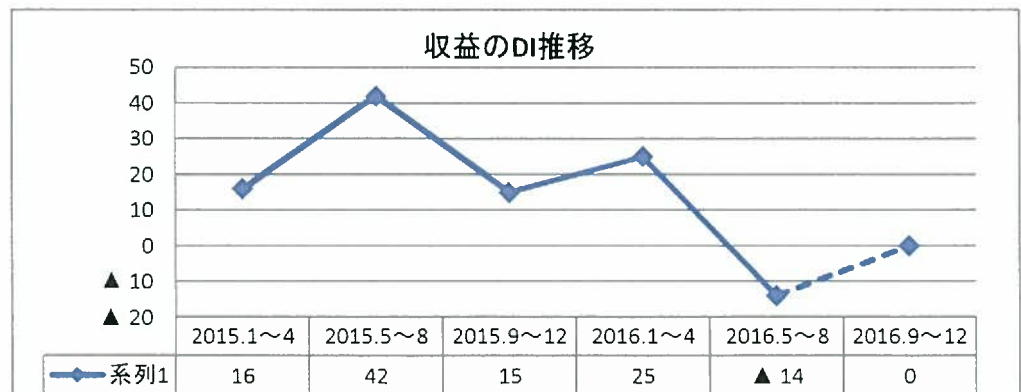
今期の業況は「良い」14.3%、「変わらず」71.4%、「悪い」14.3%でD.I.0となっており、前期(8)に比べ下降しています。来期の業況はD.I.▲14と更に大きく下降する模様です。



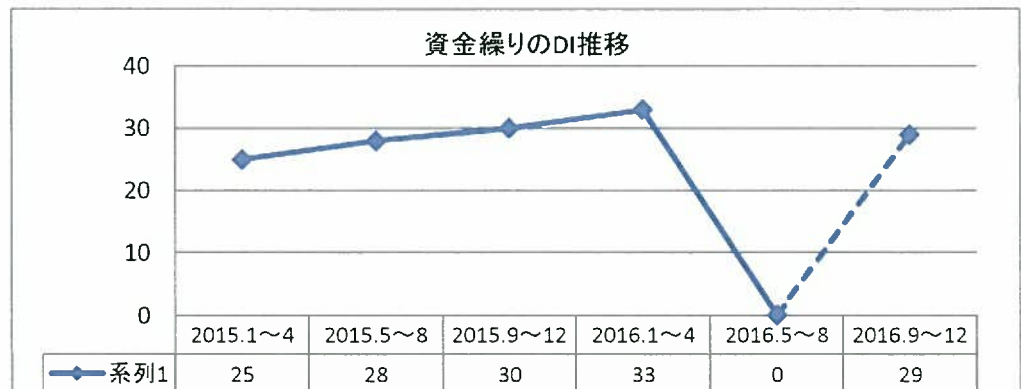
今期の売上は「良い」14.3%、「変わらず」71.4%、「悪い」14.3%でD.I.0となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。来期の売上はD.I.14と大きく上昇する見通しです。



今期の収益は「良い」0%、「変わらず」85.7%、「悪い」14.3%でD.I.▲14となっており、前期(25)に比べ大きく下降しています。来期の収益はD.I.0と大きく上昇する見通しです。

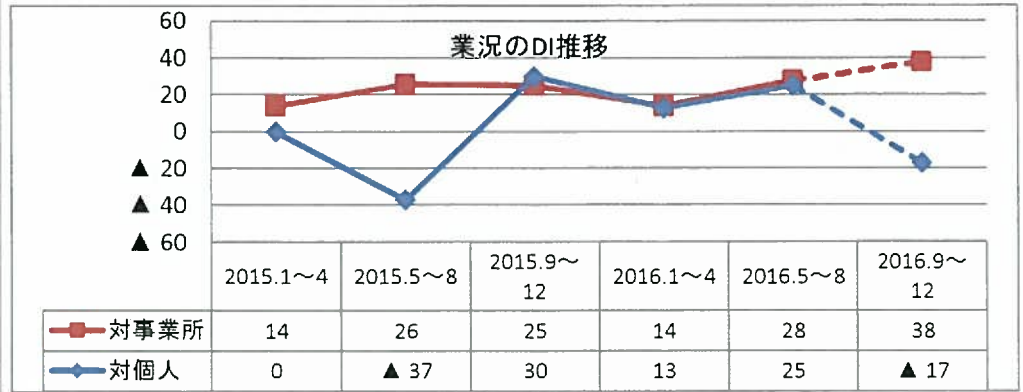


今期の資金繰りは「良い」14.3%、「変わらず」71.4%、「悪い」14.3%でD.I.0となっており、前期(33)に比べ大きく下降しています。来期の資金繰りは(29)と大きく上昇する模様です。

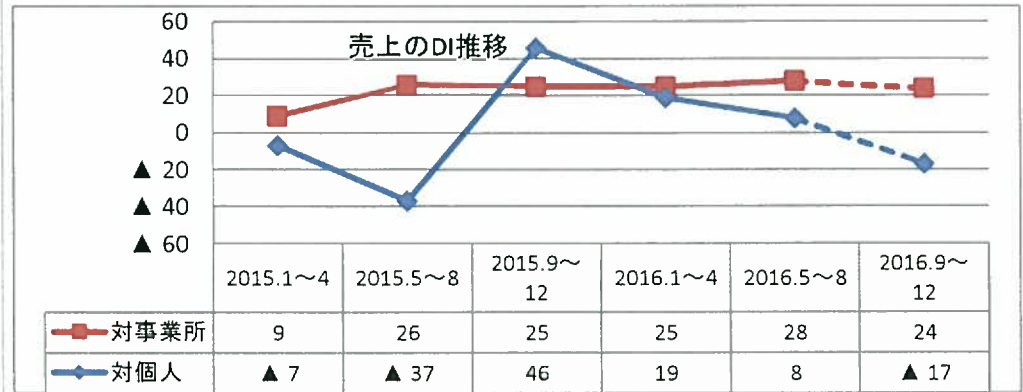


# サービス業

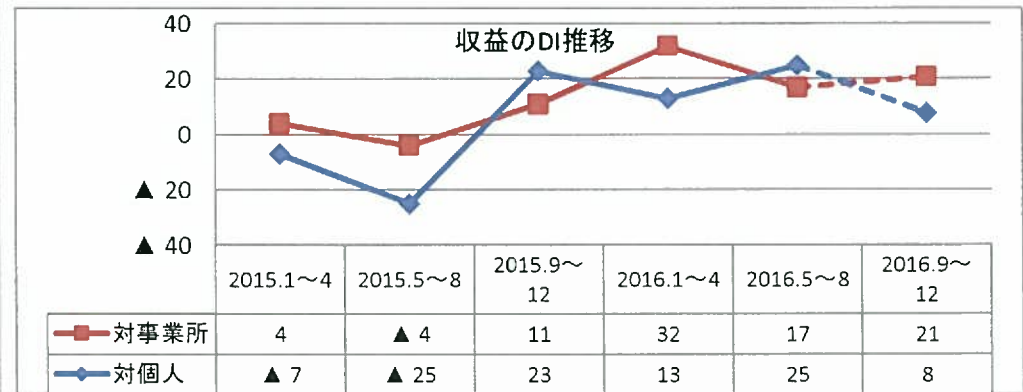
今期の対事業所向けの業況は「良い」44.8%、「変わらず」37.9%、「悪い」17.3%でD.I.28となっており、前期(14)に比べ大きく上昇しています。来期の業況はD.I.38とさらに上昇する見通しです。  
対個人向けは「良い」41.7%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.6%でD.I.25となっており、前期(13)に比べ大きく上昇しています。来期はD.I.▲17と大きく下降する見通しです。



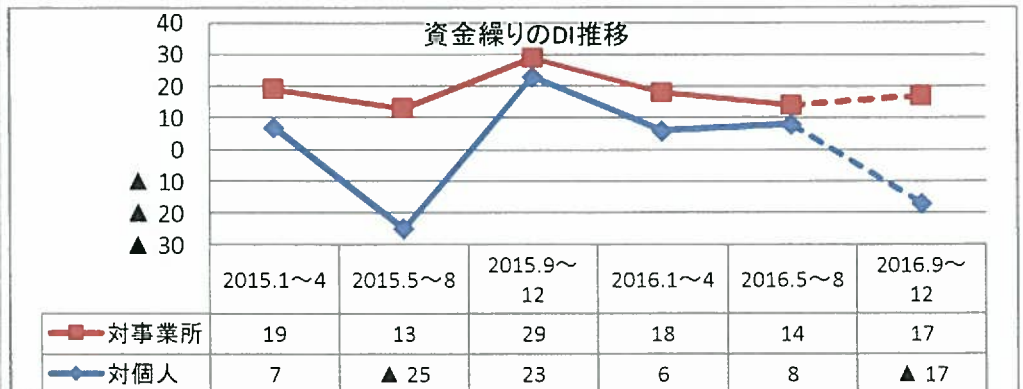
今期の対事業所向けの売上は「良い」48.3%、「変わらず」31.0%、「悪い」20.7%でD.I.28となっており、前期(25)に比べ微増しています。来期の売上はD.I.24と下降する見通しです。  
対個人向けは「良い」41.7%、「変わらず」16.7%、「悪い」33.3%でD.I.8となっており、前期(19)と比べ大きく下降しています。来期はD.I.▲17とさらに大きく下降する見通しです。



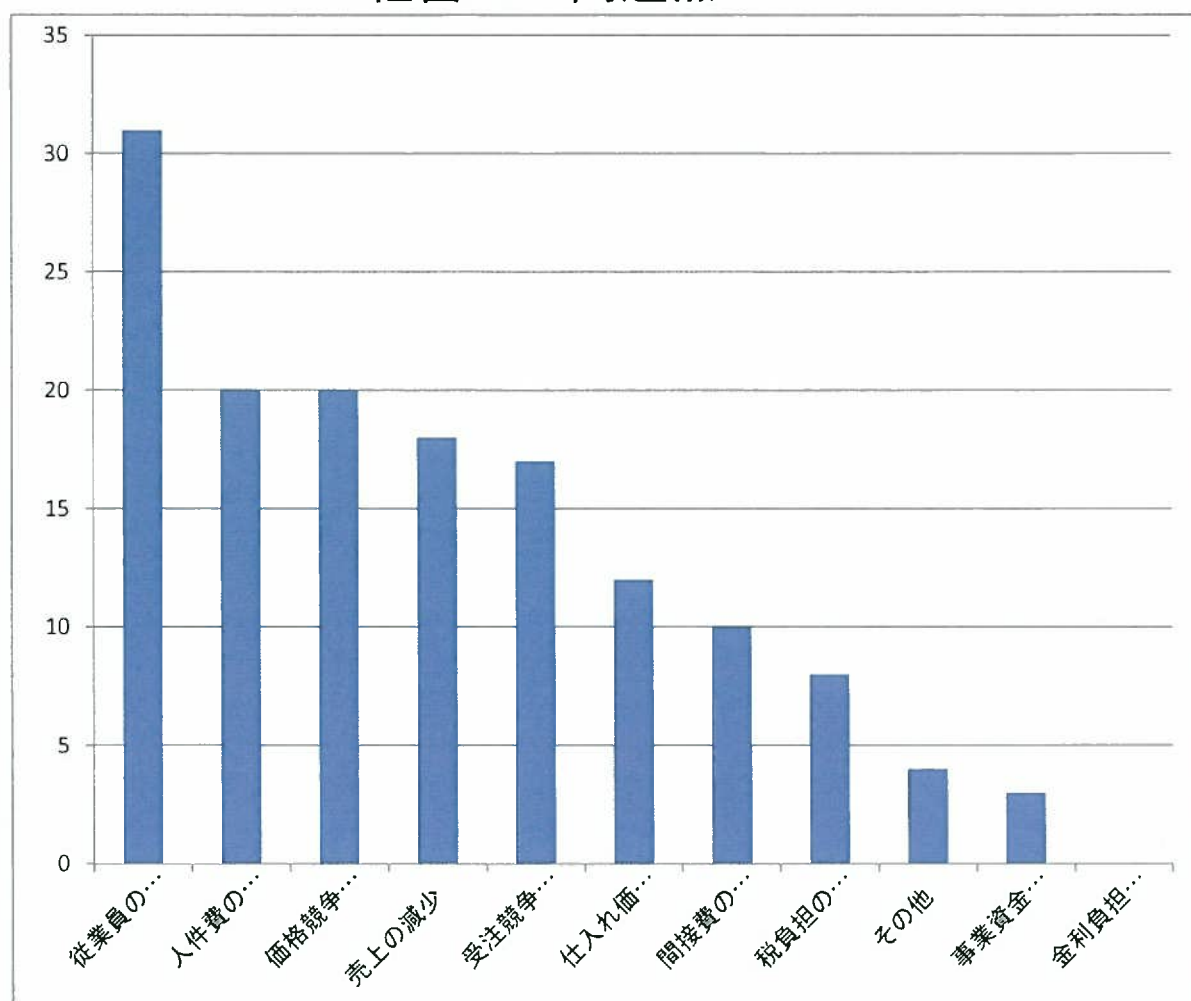
今期の対事業所向けの収益は「良い」37.9%、「変わらず」41.4%、「悪い」20.7%でD.I.17となっており、前期(32)に比べ大きく下降しています。来期の収益はD.I.21と上昇する見通しです。  
対個人向けは「良い」41.7%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.6%でD.I.25となっており、前期(13)に比べ大きく上昇しました。来期はD.I.8と大きく下降する見通しです。



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」31.0%、「変わらず」51.7%、「悪い」17.3%でD.I.14となっており、前期(18)に比べやや下降しています。来期の資金繰りはD.I.17とやや上昇する見通しです。  
対個人向けは「良い」33.3%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.7%でD.I.8となっており、前期(6)からわずかに上昇しています。来期はD.I.▲17と大きく下降する見通しです。



## 経営上の問題点

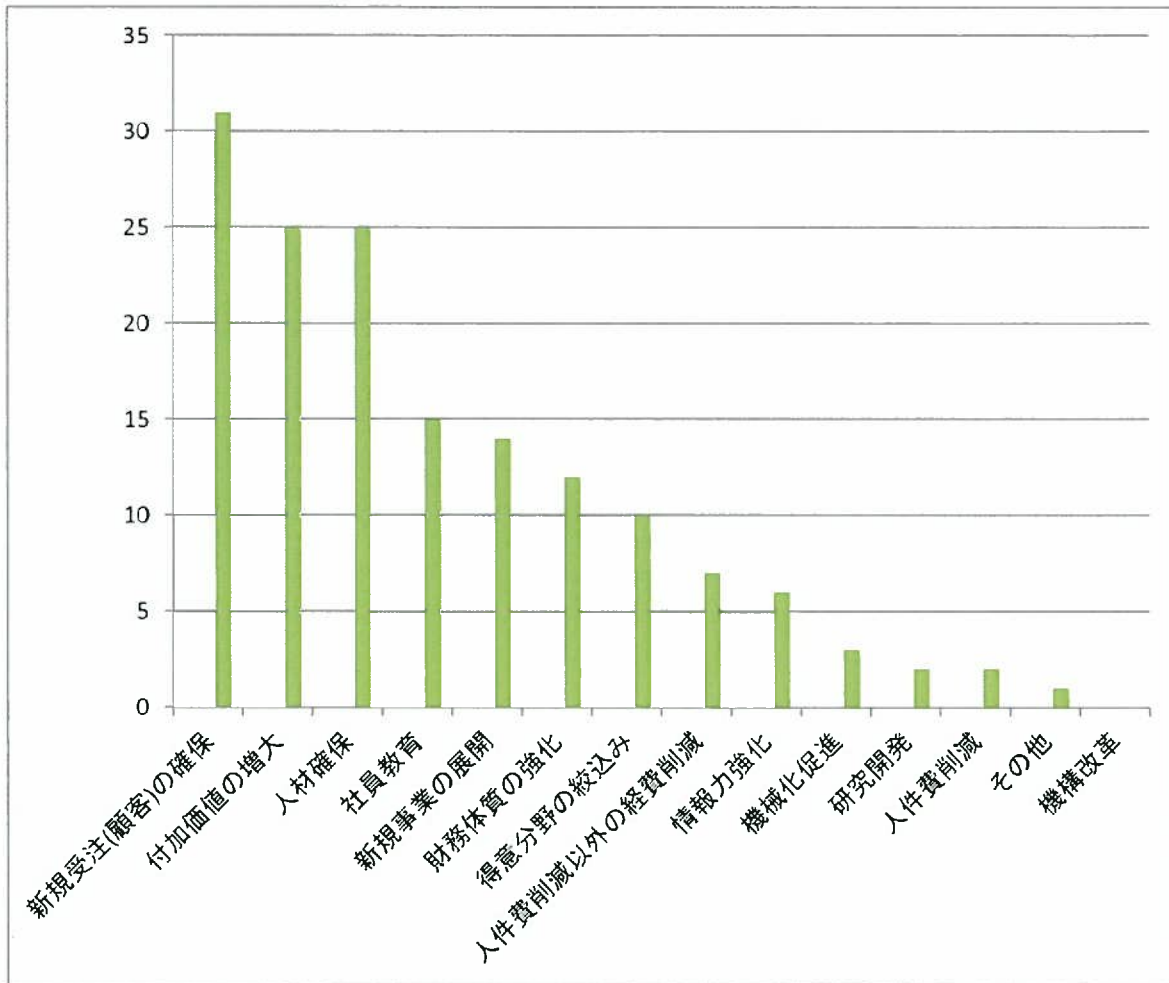


カテゴリー	件数	ウエイト
従業員の不足	31	22%
人件費の増加	20	14%
価格競争の激化	20	14%
売上の減少	18	13%
受注競争の激化	17	12%
仕入れ価格の上昇	12	8%
間接費の増加	10	7%
税負担の増加	8	6%
その他	4	3%
事業資金の借入難	3	2%
金利負担の増加	0	0%

143 100%

経営者が抱える現在の問題点は「従業員の不足」「人件費の増加」「価格競争の激化」がベスト3となっています。これらの問題点は1年以上前から変わっておらず、継続している問題点と言えます。

## 経営上の力点



カテゴリー	件数	ウエイト
新規受注(顧客)の確保	31	20.3%
付加価値の増大	25	16.3%
人材確保	25	16.3%
社員教育	15	9.8%
新規事業の展開	14	9.2%
財務体質の強化	12	7.8%
得意分野の絞込み	10	6.5%
人件費削減以外の経費削減	7	4.6%
情報力強化	6	3.9%
機械化促進	3	2.0%
研究開発	2	1.3%
人件費削減	2	1.3%
その他	1	0.7%
機構改革	0	0.0%

153 100.0%

経営上の力点、即ち 経営者として取り組むべき課題は「新規受注の確保」「付加価値の増大」「人材確保」が多い傾向にあります。付加価値の高い商品を充実させ、顧客を増やす。これを実現する為の人材を増やしたいということでしょう。これは永遠のテーマとも言えます。

鹿児島の中企業経営者が持つ関心事についてお尋ねします。

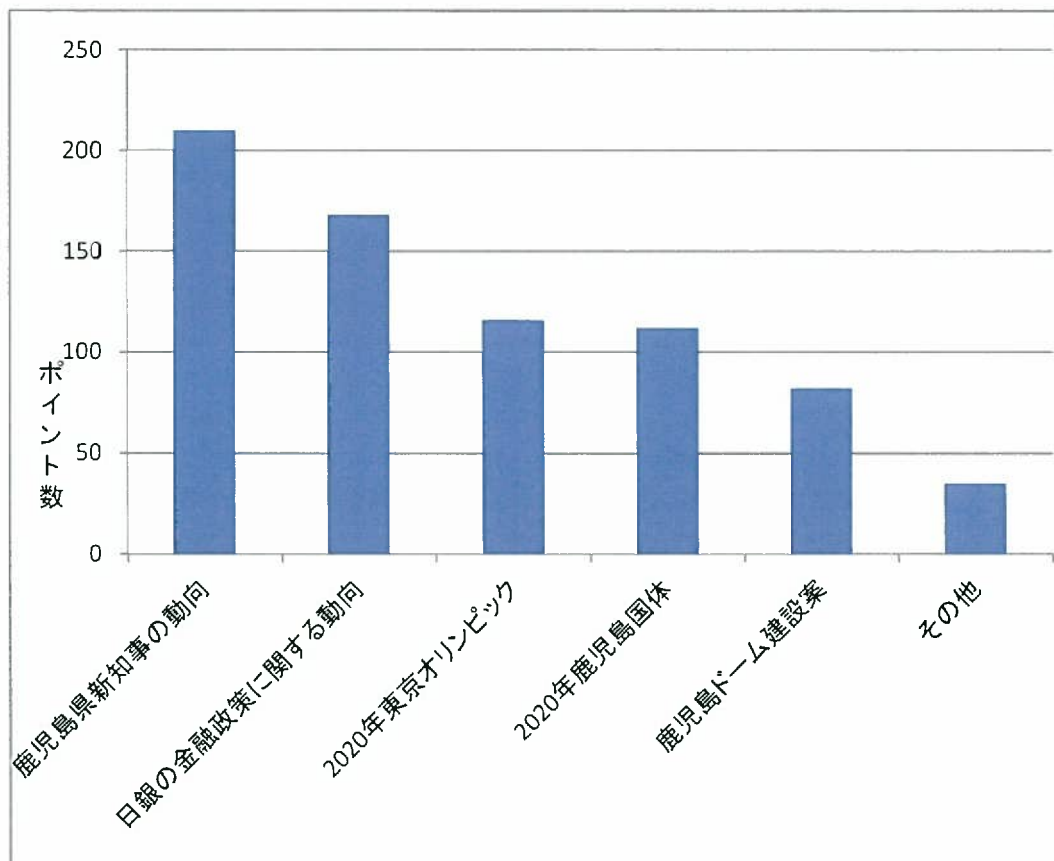
下記の語群の中から関心の高い順に番号を付けて下さい。

(関心の無い語群は番号付けする必要はありません)

- ・日銀の金融政策に関する動向      ・鹿児島県新知事の動向      ・鹿児島ドーム建設案
- ・2020年鹿児島国体      ・2020年東京オリンピック      ・その他

	何番目に関心があるか					ポイント 合計	
	1番目 (5ポイント)	2番目 (4ポイント)	3番目 (3ポイント)	4番目 (2ポイント)	5番目 (1ポイント)		
鹿児島県新知事の動向	23	12	11	6	2	210	29.0%
日銀の金融政策に関する動向	18	10	7	5	7	168	23.2%
2020年東京オリンピック	7	8	11	4	8	116	16.0%
2020年鹿児島国体	7	9	7	8	4	112	15.5%
鹿児島ドーム建設案	2	11	1	9	7	82	11.3%
その他	3	2	2	2	2	35	4.8%

その他…IT化(マイナンバー)



このアンケートは5つの語群から関心の高い順に数値を記載してもらった質問でした。5件全てに順番を記載して頂いた方もいらっしゃいましたが、1個だけ記載した方もいらっしゃいます。この結果を“何番目に関心があるか”の欄に件数を落とし込みました。更に1番目を5ポイント、2番目を4ポイント～5番目を1ポイントとして計算したものが“ポイント合計”欄の数値になります。

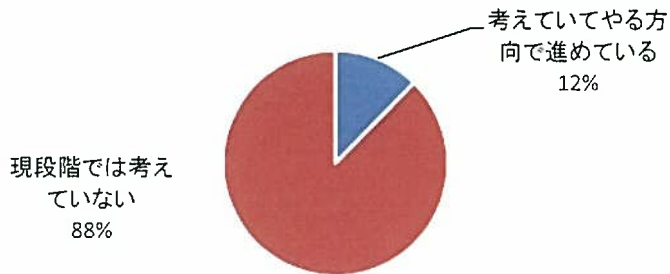
今後の景気動向調査の質問項目設定に生かして行きたいと思っております。

2018年のNHK大河ドラマが“西郷(せご)どん”に決定し、その経済効果が期待されています。

①施策は考えていますか？

考えていてやる方向で進めている	10	12.3%
現段階では考えていない	71	87.7%

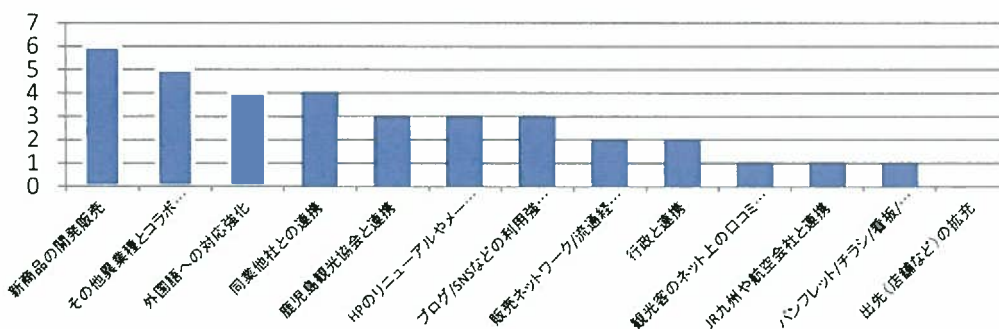
大河ドラマ“西郷どん”への施策を考えていますか？



②「考えていてやる方向で進めている」方はどのような施策ですか？

新商品の開発販売	6	17.1%
その他異業種とコラボレーション	5	14.3%
外国語への対応強化	4	11.4%
同業他社との連携	4	11.4%
鹿児島観光協会と連携	3	8.6%
HPのリニューアルやメールでの情報発信内容の強化	3	8.6%
ブログ/SNSなどの利用強化で情報発信	3	8.6%
販売ネットワーク/流通経路の強化	2	5.7%
行政と連携	2	5.7%
観光客のネット上の口コミ活用の仕掛け	1	2.9%
JR九州や航空会社と連携	1	2.9%
パンフレット/チラシ/看板/のぼり等の準備	1	2.9%
出先(店舗など)の拡充	0	0.0%

「考えていてやる方向で進めている」方はどのような施策ですか？



9月に発表されたばかりということもあってか、“施策を考えている”と答えた方は1割そこそこの結果に終わりました。大河ドラマに鹿児島が選ばれることは大きなビジネスチャンスと言えます。これは観光ビジネスに留まることなく、食品業/建設業/印刷看板業/サービス業と多岐にわたります。有効的な戦略立案の為に、既に放映された他県の好事例、失敗事例の収集も大きなヒントになるかと思えます。

③当社はこのような戦略を考えているとご説明できることがあれば是非お聞かせ下さい。

- ・紹介がもらえる仕組みづくり、営業オリジナルツール
- ・鹿児島県のよさをアピールして観光客の増加につとめたい
- ・当たり前のことを当たり前にする。日頃より出来ていれば何事にも動じない。
- ・一過性のものはその後の景気悪化に必ず直面する。イベントの大物を狙うのではなく、継続性のあるものに絞り込んで地味に堅実にいきたい。
- ・人的付加価値の創造